

SANS FRONTIÈRES

vol.40

水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryo.ac.jp/>

9月26日(木)、医薬コース1、2年生96名が一日HRに行ってきました。

福祉機器・国際福祉機器展見学

1日HRの事前学習として、1年生は9月5日、12日に茨城県総合福祉会館に展示されている福祉機器を見学しました。介護に用いられる人形や車いす、スプーンなど多種多様な機器を見てまいりました。生徒たちは、日ごろ目にすることの少ない介護に使われる機器を見て、デザインや細かい工夫に驚くばかりでした。

1日HRでは1、2年生で「国際福祉機器展2019」へ見学に向かいました。東京ビッグサイト全体で開催される非常に大規模なもので、錠剤のみやすくするゼリーといった小さなものから、身体に障害のある方が運転するための車といった大きなものまで、事前学習時の展示とは比較にならないほどの多彩な物品の展示に多くの生徒が探求心を持って見学をしていました。

広い会場内には高齢者や身体が不自由な人のためのみならず、その方々を介助、介護する方へも配慮された展示や発表があり、生徒たちも充実した時間を過ごすことができましたようです。医療分野との密接なつながりがある展示に、将来への想像を具体的に膨らませるよい機会となったのではないのでしょうか。



日本科学未来館

1年生は日本科学未来館へ行き、ゲノム編集に関するワークショップと常設展の見学を行ってきました。ワークショップではゲノム編集という先端科学技術の利用を考える内容で「自分の子どもとなる受精卵にゲノム編集を利用する?」というテーマで行われました。ゲノム編集に関しては事前学習を行いました。今回のワークショップで班のメンバーと考え、話し合いをすることでゲノム編集に関する様々な課題についてさらに理解を深めることができました。また、一人で考えるだけでなく班のメンバーと話し合うことで一人では分からなかったいろいろな考えを学ぶことができ、とても勉強になったようです。常設展の見学では先端科学技術を学ぶことのできる展示が多くあり、特に医療に関する展示には興味を惹かれた生徒も多かったようです。今回の見学を通して科学技術や医療の分野について関心を深める貴重な経験となりました。



帝京大学見学

2年生の医療系進学希望者47名で帝京大学を見学してきました。帝京大学は医療系の大学で珍しく1つのキャンパスに医学部・薬学部・医療技術学部があり、附属病院が隣接しています。

帝京大学に着くと初めに、入試情報について説明を受けました。まだまだ入試について知らない生徒も多いため、入試の仕組みについて学ぶことができました。また、帝京大学は試験が複数回受験でき、その中でも成績が良かった日にちの結果を合否判定に使うと、初めて知った生徒もいました。

その後、3班に分かれそれぞれキャンパス見学を行いました。普段見ることができない、薬学部の調剤室や、医療機器、大学の図書館を見て、生徒は施設の充実さに驚かされていました。



東京都市大学見学

2年生9名は東京都市大医用工学部を見学し、様々な体験を中心に見学をしました。上の写真は、電動車いす体験の様子です。一緒に写っている学生さんは、既存の車いすにジョイントして使用できる移動支援機器（マルチパーパスモビリティ）の開発に取り組んでいます。実用化に向け、日々取り組んでいるとのことで、医用工学を通して「社会をより良くするために」という使命感を持って研究に従事している姿に生徒たちも感銘を受けていました。下の写真は、実際のメスを使って、鶏肉を切っている様子です。本物の手術室を体感できるものとなっており、ドラマの中で見るような風景に生徒たちは大興奮していました。体験中心の大学見学を通して、医療従事者になる志を高め、進路選択の幅が広がるような最高の体験になりました。



2年生総合学習発表会



10月5日(土)、総合学習の発表会が開かれました。医歯薬コースでは、2年生が2学期初めに発表会をし、それを聞いて参考にしながら、1年生が研究テーマを決め、3学期に2年生に向けて発表をしてきました。これまでは1年ごとに研究テーマを変えていたのですが、一昨年から2年間で研究や考察を深める形式にし、文化祭で掲示物を作ったりしながら学習を続けてきました。発表会も体育館で行い、保護者の方も招待しました。

今年度もその形式を踏襲し、昨年から続けてきた研究テーマについて2年生が発表しました。スライドだけでなく掲示物を提示したり、聞いてくれている人に語りかけたりして、発表の方法にも成長の姿が見られました。保護者の方々はもちろん、今年是他コースの生徒や教員、学校見学に来た中学生にも見て頂くことができました。

発表テーマは以下の通りです。



【2年1組】
『世界医療ガイドランス』
『mental illnesses from five viewpoints』
『#薬の副作用』 『高校生のダイエット』
『WARNING! The Stress』



【2年2組】
『旅するゲノム史』
『ジェネリック医薬品は利用すべきか?』
『空飛ぶドクターヘリ』 『アルビノと突然変異』
『ユニバーサルデザインがつくる未来の医療』

既に1年生は研究テーマの選定を始めています。研究においてテーマを決めるのはとても大切なことです。1年生の発表は3月を予定しています。

推薦図書



よく見かけるこのデザイン。「赤本」と呼ばれる、大学入試問題を収録した本です。1、2年生も「まだ早い」と言わずに、手に取って見てください。「自分はどこまで行くのか」という到達点を知ることは大切です。ホールだけではなく、図書室にはもっと多くの赤本があります。見てみましょう。



こちらは吉村昭の小説「暁の旅人」です。幕末に生きた実在の医師、「松本良順」が主人公。西洋医学を学んだ良順は、新撰組の近藤勇のケガの治療もしました。幕末から明治維新。日本が大きく変化した時代に生きた一人の医師の物語を読んでみてください。